



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場会社名 みらかホールディングス株式会社
 コード番号 4544 URL <http://www.miraca-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鈴木 博正
 (氏名) 北村 直樹

TEL 03-5909-3337

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	159,382	3.4	20,616	△3.7	19,365	△9.3	△9,960	—
27年3月期第3四半期	154,109	1.0	21,402	2.3	21,356	△0.3	13,513	9.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △9,198百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 27,586百万円 (15.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△174.87	—
27年3月期第3四半期	230.33	229.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	242,290	157,231	64.8	2,755.67
27年3月期	262,203	171,851	65.5	3,016.78

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 157,008百万円 27年3月期 171,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	46.00	—	46.00	92.00
28年3月期	—	55.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	2.6	25,700	△4.9	24,500	△7.8	△5,800	—	△101.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	57,226,466 株	27年3月期	57,137,966 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	250,042 株	27年3月期	248,069 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	56,956,859 株	27年3月期3Q	58,668,472 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成28年2月9日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新興国の景気減速が長期化する一方で、先進国において景気回復が進み、全体として緩やかな成長基調で推移しましたが、原油価格の下落や世界同時株安の発生など、不安定な状況が続いております。

わが国においては、雇用と賃金の状況が改善する一方、新興国経済の減速懸念などから、景気は全体として足踏み状況となりました。

臨床検査業界におきましては、引き続き価格低下圧力及び同業他社との競争激化を反映して、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループといたしましてはさらなる成長を遂げるための経営諸施策に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果といたしまして、当第3四半期連結累計期間の売上高は159,382百万円(前年同四半期比3.4%増)となりました。臨床検査薬事業において海外での製品販売が伸長したこと及び円安が進行したことを主要因として増収となりました。利益面では、国内受託臨床検査事業の価格下落による利益減を、臨床検査薬事業の増収による利益増が補いきれず、結果として営業利益は20,616百万円(前年同四半期比3.7%減)、経常利益は19,365百万円(前年同四半期比9.3%減)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間において、当社の米国子会社であるMiraca Life Sciences, Inc. (以下「MLS」)にかかるのれんの減損処理に基づく特別損失を計上したこと並びにMLSに対する訴訟に関連して法人税の見積り計上及びこれに対応する受取補償金の特別利益への見積り計上を行ったことなどから、親会社株主に帰属する四半期純損失は9,960百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益13,513百万円)となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

(セグメントの業績)

■臨床検査薬事業

海外における製品販売の伸長及び円安の進行を主要因として増収となりました。利益面では、海外子会社の増収による利益増等により増益となりました。これらの結果、売上高は34,319百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業利益は8,729百万円(前年同四半期比9.0%増)となりました。

■受託臨床検査事業

国内事業において検査受託価格の下落による減収を新規項目の拡販が一部補ったほか、円安が海外事業の増収に寄与したことから、増収となりました。利益面では、国内事業の検査受託価格の下落を主要因として減益となりました。これらの結果、売上高は103,533百万円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益は9,567百万円(前年同四半期比12.8%減)となりました。

■ヘルスケア関連事業

滅菌事業につきましては、継続して受託病院の新規獲得に努めた結果、売上高は13,055百万円(前年同四半期比2.7%増)となりました。

治験事業につきましては、引き続き新規案件の獲得に注力しましたが、受注単価の下落などの要因から、売上高は3,628百万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

これらの結果、ヘルスケア関連事業の売上高は21,530百万円(前年同四半期比1.0%増)、営業利益は2,164百万円(前年同四半期比7.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19,913百万円減少し、242,290百万円となりました。その主な要因は、ソフトウェアの増加6,871百万円及び投資その他の資産その他の増加5,155百万円があった一方、のれんの減少24,974百万円、無形固定資産その他の減少3,644百万円、顧客関連無形資産の減少1,568百万円及び流動資産その他の減少1,530百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ5,292百万円減少し、85,058百万円となりました。その主な要因は、訴訟損失引当金の増加2,586百万円があった一方、長期借入金の減少4,850百万円及び未払法人税等の減少3,493百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ14,620百万円減少し、157,231百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加597百万円があった一方、親会社株主に帰属する四半期純損失9,960百万円及び配当金の支払5,750百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.7%減少し64.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,631百万円増加し、28,919百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は21,458百万円（前年同四半期19,287百万円の獲得）となりました。その主な要因は、非資金支出項目である減損損失22,670百万円、減価償却費8,135百万円、のれん償却額3,011百万円及びその他の流動負債の増加4,182百万円があった一方、法人税等の支払額9,376百万円、未払消費税等の減少2,173百万円及び賞与引当金の減少1,908百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は8,906百万円（前年同四半期7,615百万円の使用）となりました。その主な要因は、無形固定資産の取得による支出5,229百万円及び有形固定資産の取得による支出3,707百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は10,943百万円（前年同四半期19,796百万円の使用）となりました。その主な要因は、配当金の支払額5,734百万円及び長期借入金の返済による支出5,000百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年1月27日の「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,300	28,931
受取手形及び売掛金	38,734	38,246
商品及び製品	4,790	5,108
仕掛品	5,026	5,149
原材料及び貯蔵品	5,096	5,365
その他	11,540	10,010
貸倒引当金	△2,413	△2,309
流動資産合計	90,075	90,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,803	16,920
工具、器具及び備品(純額)	5,179	5,063
土地	8,920	8,917
その他(純額)	10,635	10,297
有形固定資産合計	42,537	41,199
無形固定資産		
のれん	59,428	34,454
顧客関連無形資産	31,467	29,899
ソフトウェア	2,416	9,288
その他	10,676	7,031
無形固定資産合計	103,989	80,673
投資その他の資産		
投資有価証券	17,869	17,030
その他	7,748	12,903
貸倒引当金	△17	△18
投資その他の資産合計	25,600	29,915
固定資産合計	172,127	151,788
資産合計	262,203	242,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,374	9,833
電子記録債務	1,437	1,374
1年内返済予定の長期借入金	6,000	6,000
未払金	5,868	6,245
未払法人税等	4,075	582
賞与引当金	4,638	2,734
その他	10,484	11,977
流動負債合計	42,879	38,747
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	12,150	7,300
退職給付に係る負債	4,345	4,042
資産除去債務	887	648
訴訟損失引当金	-	2,586
その他	20,088	21,734
固定負債合計	47,471	46,311
負債合計	90,351	85,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,666	8,838
資本剰余金	24,388	24,560
利益剰余金	105,224	89,514
自己株式	△1,209	△1,219
株主資本合計	137,071	121,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	716
為替換算調整勘定	34,198	34,796
退職給付に係る調整累計額	△251	△197
その他の包括利益累計額合計	34,553	35,314
新株予約権	227	222
純資産合計	171,851	157,231
負債純資産合計	262,203	242,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	154,109	159,382
売上原価	92,947	97,308
売上総利益	61,161	62,074
販売費及び一般管理費	39,758	41,458
営業利益	21,402	20,616
営業外収益		
受取利息	12	19
受取配当金	46	40
保険配当金	146	131
為替差益	631	-
その他	228	227
営業外収益合計	1,065	418
営業外費用		
支払利息	430	466
持分法による投資損失	32	1,077
アドバイザー費用	541	-
その他	106	124
営業外費用合計	1,111	1,669
経常利益	21,356	19,365
特別利益		
固定資産売却益	1,475	3
新株予約権戻入益	9	9
受取補償金	-	3,159
その他	155	27
特別利益合計	1,640	3,199
特別損失		
固定資産除却損	96	47
減損損失	2	22,670
その他	1,033	189
特別損失合計	1,132	22,906
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	21,864	△341
法人税、住民税及び事業税	8,301	9,690
法人税等調整額	49	△71
法人税等合計	8,351	9,618
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,513	△9,960
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	13,513	△9,960

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,513	△9,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△386	110
繰延ヘッジ損益	118	-
為替換算調整勘定	14,272	597
退職給付に係る調整額	69	54
その他の包括利益合計	14,073	761
四半期包括利益	27,586	△9,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,586	△9,198

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	21,864	△341
減価償却費	8,182	8,135
減損損失	2	22,670
のれん償却額	3,009	3,011
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,971	△1,908
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	-	2,611
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△172	△235
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△54	△110
受取利息及び受取配当金	△59	△60
支払利息	430	466
持分法による投資損益(△は益)	32	1,077
受取補償金	-	△3,159
売上債権の増減額(△は増加)	△1,429	328
たな卸資産の増減額(△は増加)	△496	△691
その他の流動資産の増減額(△は増加)	79	389
仕入債務の増減額(△は減少)	△699	△615
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,673	△2,173
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,493	4,182
その他	△1,875	△2,317
小計	31,011	31,260
利息及び配当金の受取額	59	48
利息の支払額	△449	△472
法人税等の支払額	△11,333	△9,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,287	21,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,358	△3,707
無形固定資産の取得による支出	△5,254	△5,229
投資有価証券の売却による収入	514	-
その他	2,482	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,615	△8,906
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	150
長期借入金の返済による支出	△4,000	△5,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△741	△572
株式の発行による収入	262	291
配当金の支払額	△5,213	△5,734
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△10,018	-
その他	△85	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,796	△10,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	732	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,391	1,631
現金及び現金同等物の期首残高	35,671	27,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,280	28,919

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 薬事業	受託臨床 検査事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,117	100,669	21,322	154,109	—	154,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,808	1,343	129	4,281	△4,281	—
計	34,925	102,012	21,452	158,391	△4,281	154,109
セグメント利益	8,006	10,974	2,348	21,329	73	21,402

(注) 1. セグメント利益の調整額73百万円は、セグメント間取引消去1,720百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,647百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 薬事業	受託臨床 検査事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,319	103,533	21,530	159,382	—	159,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,591	1,368	61	4,020	△4,020	—
計	36,910	104,901	21,591	163,403	△4,020	159,382
セグメント利益	8,729	9,567	2,164	20,460	155	20,616

(注) 1. セグメント利益の調整額155百万円は、セグメント間取引消去1,762百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,606百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「受託臨床検査事業」セグメントにおいて、Miraca Life Sciences, Inc.に係るのれんについて、現時点での業績及び最新の中期見通しに基づき減損テストを実施した結果、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては22,355百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「受託臨床検査事業」セグメントにおいて、上記（固定資産に係る重要な減損損失）に記載した減損損失を計上しております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては22,355百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。